

秋田市緑の基本計画の進捗確認と評価について

1 はじめに

「秋田市緑の基本計画」は、平成31年3月に改定し、概ね5年が経過したことから、令和元年度から令和5年度までの進行管理と評価を実施し、整理したものを本資料としてまとめました。

2 計画の位置づけ

秋田市緑の基本計画は、都市緑地法の規定により、上位計画である第13次秋田市総合計画に即し、第7次秋田市総合都市計画に適合し、また、秋田市環境基本計画および秋田市景観計画と調和した内容とする必要があります。その他関連計画としては、第6次秋田市農林水産業・農村振興基本計画、秋田市立地適正化計画、秋田市公共施設等総合管理計画、秋田市地域防災計画等が挙げられます。

また、同計画は、秋田市都市緑化の推進に関する条例第2条第1項に規定する都市緑化推進基本方針としての位置づけもあります。

3 目標年次

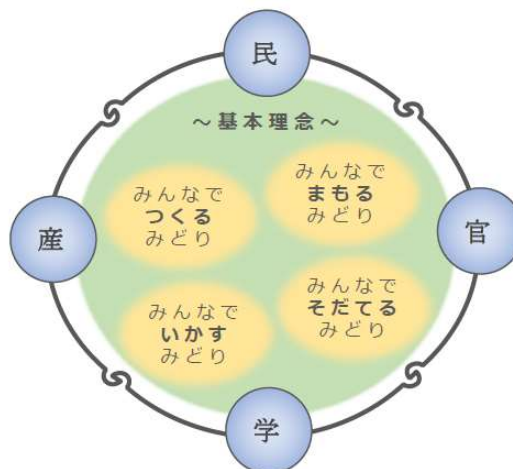
本計画の目標年次は、特に関連性の強い秋田市総合都市計画の計画期間との整合性を勘案し、概ね20年後の2040年とします。また、中間目標年次を概ね10年後の2030年としています。

4 進行管理・評価の考え方

本計画の基本理念ごとに定めた目標水準の現状の確認より、進行管理・評価を行います。

～基本理念～

- ・ 持続可能でコンパクトな都市づくりに寄与する
公園・緑地の魅力創造
- ・ 多様なライフスタイルやニーズに対応した
公園・緑地の再生・活性化



多様な主体の参画・連携による
緑地の保全や緑化の推進により実現

基本理念① みんなでまもるみどり

基本方針

- 樹林地、農地など、自然の緑を保全します
- 公園施設の持続可能で適切な維持管理・更新を進めます

重点テーマ

- 緑地保全制度を活用した適切な保全を推進します

緑の目標水準

- 都市計画区域の緑地率

目標値および達成度

達成度（進捗率）			
策定時 2018年	現況 2023年度末	中間目標 2030年	最終目標 2040年
75.9%	-	現状以上	現状以上

目標値および達成度の算出方法

都市計画区域の緑地率＝都市計画区域内の緑地面積／都市計画区域面積

- ・策定時 2018年度 31,460ha/41,437ha=75.9% 参考：公園課所管公園面積 693.29ha
- ・現況 2023年度 都市計画基礎調査結果により算出しており、次回調査が2026年度（10年毎）を予定していることから、次回評価・見直し時に算出することとする。
（秋田市の公園緑地より） 参考：公園課所管公園面積 696.75ha

◆評価

策定時から都市計画基礎調査が更新されておらず、達成度の確認はできていないが、新たに開設した公園など、秋田市公園課が所管する公園面積については増加（3.46ha 増）していることから、継続して公園整備を進めていく。

基本理念② みんなでつくるみどり

基本方針

- 緑の拠点づくりを進めます
- 水と緑のネットワークづくりを進めます
- 緑豊かな生活環境づくりを進めます

重点テーマ

- 暮らしに身近な公園を配置することを目指した都市公園の整備を推進します
- 長期未着手の都市計画公園等の見直しを推進します

緑の目標水準

- 市街化区域で都市公園へ気軽に歩いていける地域の割合

目標値および達成度

達成度（進捗率）			
策定時 2018年	現況 2023年度末	中間目標 2030年	最終目標 2040年
44.1%	45.3%	46%	47%

目標値および達成度の算出方法

市街化区域で都市公園に気軽に歩いていける地域（都市公園から半径300m圏域内）の割合
＝市街化区域内で都市公園に気軽に歩いていける地域の面積／市街化区域面積

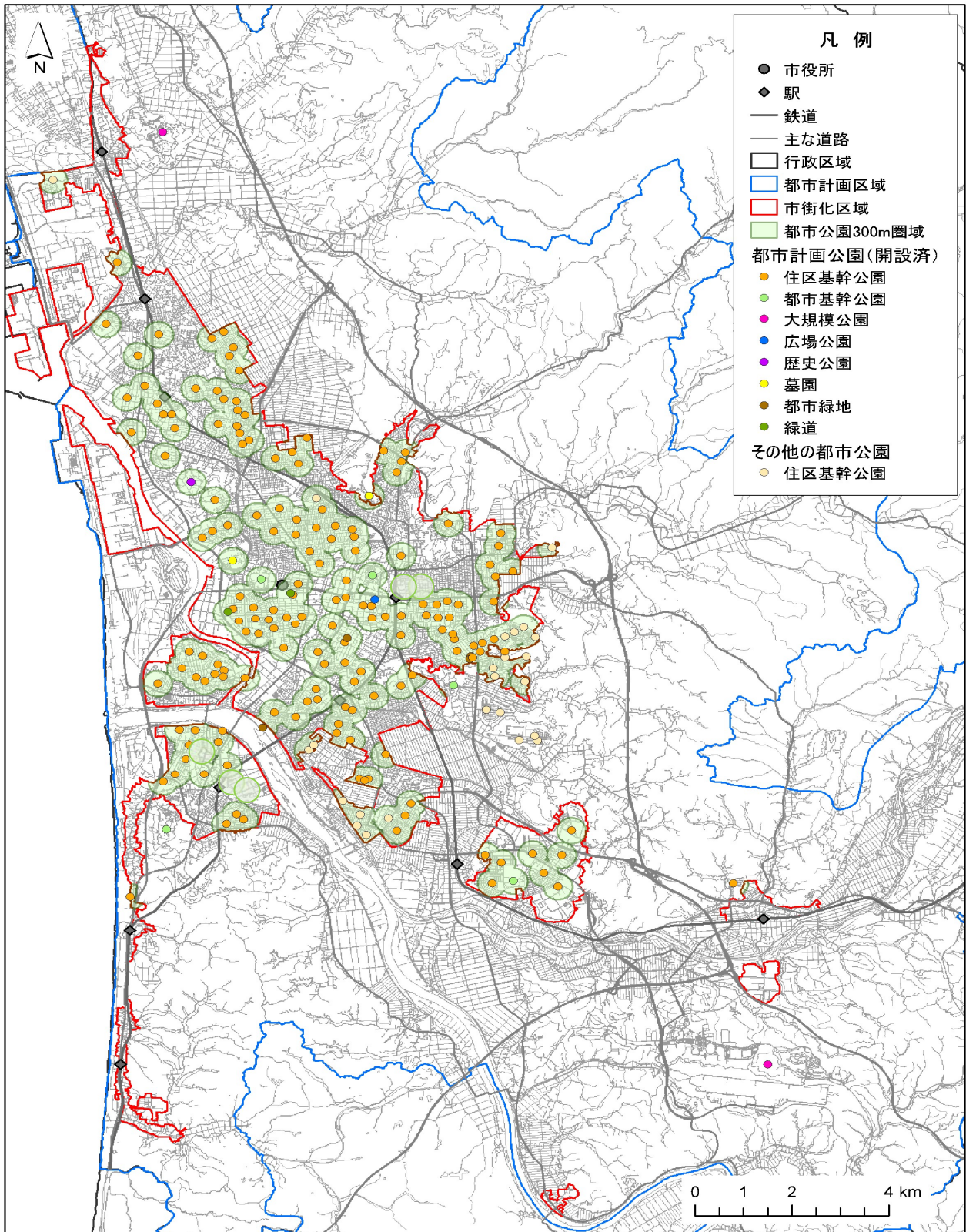
- ・策定時 2018 年度 3,351ha/7,602ha=44.1%
- ・現況 2023 年度 3,436ha/7,585ha=45.3% (GIS データより抽出)

※図 1 市街化区域で都市公園へ気軽に歩いていける地域 参照

◆評価

開設した都市公園のほか、児童遊園地から都市公園へ指定されたものを含め、1.2%の増加が確認され、このまま推移していけば目標の達成を見込めることから、継続して公園の整備を図る。

図 1 市街化区域で都市公園へ気軽に歩いていける地域



基本理念③ みんなでそだてるみどり

基本方針

- 緑のパートナーづくりを進めます
- 緑への“気づき”づくりを進めます

重点テーマ

- 多様な主体との協働を促進します

緑の目標水準

- 公園愛護協会の結成公園割合

目標値および達成度

達成度（進捗率）			
策定時 2018年	現況 2023年度末	中間目標 2030年	最終目標 2040年
63.9%	64.2%	72%	78%

目標値および達成度の算出方法

公園愛護協会の結成公園割合＝公園愛護協会が結成されている公園数／公園総数

（秋田市の公園緑地より）

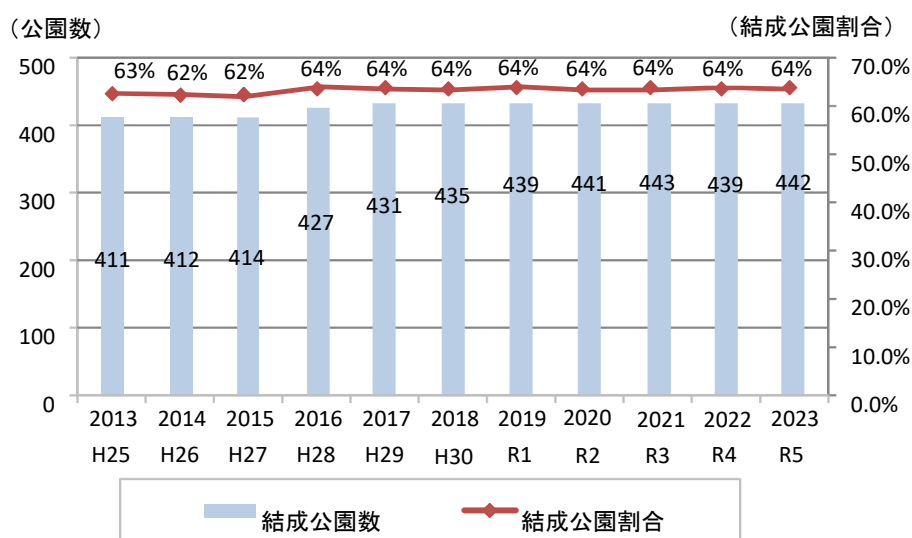
※図2 公園愛護協会の結成公園数の推移 参照

◆評価

公園愛護協会は、近年横ばいで推移しており、今後さらなる人口減少や高齢化により、活動の継続や新たな結成は困難になることで減少傾向になることが想定される。

そのため、既存の公園のほか新たに開設した公園周辺の町内会等に、公園愛護協会に関するPR活動等を行うことにより、公園愛護協会の結成公園割合の増加を目指す。

図2 公園愛護協会の結成公園数の推移



基本理念④ みんなでいかすみどり

基本方針

- 県都秋田にふさわしい“顔”づくりを進めます
- 多様なニーズに対応した都市公園の活用を進めます
- 緑と親しめる場の創出を進めます

重点テーマ

- 大規模公園の活用を推進します

緑の目標水準 1

- 行事やイベント等による公園活用件数

目標値および達成度

達成度（進捗率）			
策定時 2018年	現況 2023年度末	中間目標 2030年	最終目標 2040年
277件	289件	320件	350件

目標値および達成度の算出方法

行事やイベント等による公園活用件数＝公園内行為許可件数

（秋田市公園課データ）

※表 1 公園内許可行為件数の推移 参照

◆評価

公園内行為許可件数の過去 10 年の増減は約 7 件増加／年ペースで推移しており、今後、千秋公園等の大規模公園を中心に魅力向上に向けた整備等を行うことで、さらなる活用を促し公園活用件数の増加を目指す。

※写真 1 千秋公園 桜まつり 参照

※写真 2 一つ森公園 自由広場・友誼亭 参照

※写真 3 千秋公園大手門の堀遊歩道 参照

表 1 公園内行為許可件数の推移

（件）

項目	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	平均
件数	222	236	244	256	277	273	290	154	211	262	289	
増減		14	8	12	21	-4	17	-136	57	51	37	6.7

写真 1 千秋公園 桜まつり



写真 2 一つ森公園 自由広場・友誼亭



写真3 千秋公園大手門の堀遊歩道



緑の目標水準 2

都市公園のバリアフリー化率

目標値および達成度

達成度（進捗率）			
策定時 2018年	現況 2023年度末	中間目標 2030年	最終目標 2040年
64.6%	74.4%	85%	100%

目標値および達成度の算出方法

都市公園のバリアフリー化率

=市が管理する都市公園のうちバリアフリー化整備された都市公園数/市が管理する都市公園数

- ・ 策定時 2018年度 133 公園/206 公園=64.6%
 - ・ 現況 2023年度 163 公園/219 公園=74.4%
- (秋田市の公園緑地より)

◆評価

策定時は、都市公園バリアフリー化事業による4公園のほか、吸収源対策公園緑地事業（現グリーンインフラ公園緑地整備事業）2公園の年間6公園程度の整備を進めてきたが、現在、新設公園整備や千秋公園等の大規模公園の再整備、老朽化した公園施設の更新等もあることから、年間1～2公園程の整備数になっている。

現状のペースでは、目標達成が見込めないことから、有効な財源等を確保し、都市公園のバリアフリー化整備事業等の積極的な推進により、市が管理するすべての都市公園のバリアフリー化を目指す。

※写真4 バリアフリー整備状況 参照

写真4 バリアフリー整備状況

